

科目分類	専門職の教育			開講学科	医療栄養学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
13015	4	前期	選択	1	15
授業科目名 (英文)	薬物療法学 (Pharmacotherapy)				
担当教員名	本多 秀雄				
授業の概要及び到達目標					
<p>概要：疾病の薬物療法に用いられる医薬品を理解するために、医薬品と食品の相違点、薬の作用機序、剤形、投与経路、薬効を表わすまでの生体内での運命と医薬品の開発、保管、医薬品の取り扱いに関する法規などの基本的知識を概説する。</p> <p>到達目標：さまざまな疾患の治療に用いられる医薬品の特徴と患者への適応を理解し、代表的な疾患の治療指針と治療薬の作用機序、使用方法、副作用、相互作用に関する基本的な事柄を説明できる。</p>					
準備学習等					
<p>さまざまな疾患ならびにそれらに対する薬物療法を正しく理解するためには基礎的な生理学、解剖学および臨床薬理学に関する知識が必要となります。本授業では基本的な人体の生理学、解剖学および臨床薬理学についても講義を行う予定ですが、講義前にこれらを各自が調べておくと講義がより良く理解できると思います。講義ではプリントを主体に行いますが、講義前にはプリントを熟読してください。講義後にはこれらプリントを各自が良く整理することにより薬物療法学の理解がより深まると思います。</p>					
成績評価の方法	期末試験の結果（原則として60点以上で合格）の他、出席も加味して評価します。期末試験はノートおよび配布プリントの持ち込み可です。				
テキスト	プリント配布				
参考図書	浦部晶夫ら 編：今日の治療薬、南山堂 2016 日本薬学会 編：知っておきたい薬物治療、東京化学同人 2008 日本薬学会 編：薬と疾病Ⅱ、Ⅲ、東京化学同人 2012				

備 考	本科目をより良く理解するには「臨床薬理学」の講義をしっかりと受講していることが望ましい。各授業終了後教室で質問を受け付けます。
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none">1. 心臓の疾患と薬物療法2. 血管系の疾患と薬物療法Ⅰ3. 血管系の疾患と薬物療法Ⅱ4. 消化器系疾患と薬物療法5. 精神疾患と薬物療法Ⅰ6. 精神疾患と薬物療法Ⅱ7. 疼痛と薬物療法8. まとめと期末試験の説明	